

吉田みのるの MY 通信

Minoru Yoshida



12月議会特集号

12月中旬にコロナに罹患してしまい

12月議会を2日間欠席致しました

幸いなことに家族への感染はなく

私自身も軽症で済みました

誰がいつかかるか分からないコロナ

皆さんも十分にお気をつけください

想いがみのる

願いがみのる

必ず みのる

吉田 みのる

2期目の主な役職

◇厚生福祉委員会 副委員長

◆議会運営委員会 副委員長

◇議会改革検討特別委員会 副委員長

◆埼葛斎場組合議会 代表者

◇次世代 かすかべ! 事務局長

◆春日部市「庄和大風文化保存会」 顧問

◇西宝珠花区 理事

◆防災士

◆ 12月議会補正予算の主な内訳 (一部抜粋)

○本庁舎整備事業 約 3.3 億円

物価高騰の影響により、新庁舎の工事費用を増額

○避難所環境整備事業 約 6,600 万円 (令和7年度までに市内の全小中学校の整備を行う)

避難所となる小・中学校の体育館の空調設備の整備

対象校 ⇒ 小学校：内牧・武里南、中学校：春日部・東・豊春・豊野

○障害児通所給付事業 約 1.3 億円

障害児通所サービスの利用量が増えたため

○自給率向上推進補助事業 約 4,000 万円

米の価格が下落し助成対象(麦・大豆)の作付け面積が増えたため

○旧宝珠花小学校跡地整備事業 約 3.4 億円

旧宝珠花小学校跡地の改修工事の実施

令和6年度8月に利用開始できるように進めていく

○小・中学校施設維持・管理事業 約 6,522 万円

鹿児島県の事故(8月に校長先生が校庭の樹木が倒れ下敷きになり亡くなる)を受け、学校の枯木等の剪定・伐採を行う

対象校 ⇒ 小学校：粕壁・武里・豊野・豊春、中学校：春日部

○燃料費及び光熱水費 約 1.7 億円

光熱水費の値上げに伴う電気料等の増加



○春日部市長の給料 50 パーセント減額について

1年前の市長選挙の公約である「給料 50 パーセント減額」について、令和4年1月1日から新たに1年間の延長に取り組む

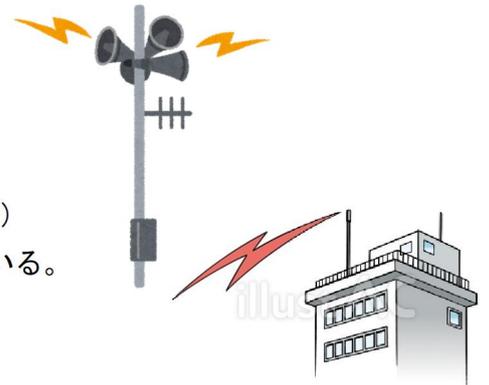
12月議会で取組んだ一般質問について (一部抜粋)



詳しくは市議会
HPの動画をご
覧ください

「広域行政について」

- 春日部市の消防指令業務(119番通報)の現状と課題について伺う。
→H26にデジタル無線の通信指令装置を整備した後、R2に部分更新を行い約11億円の整備費用がかかった。その後も必要に応じて追加整備を行った。R7に消防指令システムの全部更新の時期を迎えるため、整備費が懸念される。
- 今後の消防指令システムの対策を伺う。
→6市1町(春日部市・越谷市・草加市・三郷市・八潮市・吉川市・松伏町)110万人以上を対象としたエリアで消防指令業務の共同運用を検討している。
- 6市1町の共同運用を導入した場合のメリットを伺う。
→導入した場合、10年間の諸経費で約5.8億円の経費削減が見込まれる。
- 対象者が110万人以上の広域なエリアをカバーできるのか伺う。
→茨城県では、県全体で共同運用をしている。埼玉県内においても、所沢市や坂戸市など17市町村で、人口約120万人規模で取組んでいる。今後も、他の自治体を参考にして慎重に検討していきたい。



要望：市民の皆さんの安全安心、そして諸経費削減のためにも、消防指令業務(119番通報)の共同運用を進めて欲しい。また、今回の共同運用をきっかけに市の職員の交流や研修などにも繋げて欲しい。春日部市の広域行政の取組は、まだまだ始まったばかり。今後の更なる広域行政の取組を強く要望します。

「防災について」

- 春日部市の避難所に設置されている「スターターボックス」は、誰でもすぐに避難所を開設できるような内容になっているのか。
→誰でもすぐに避難所開設ができるように、開設に必要な手順・チェックリスト・避難所レイアウトなどを記した内容となっている。今後、更に意見を重ねて災害発生時に、円滑に避難所が開設できるように準備していく。
- 避難所を開設した後の「避難所運営」の訓練については検討しているのか伺う。
→現時点では円滑に避難所が開設できるように開設訓練に力を入れている。今後は、各地域の習熟度を勘案して、実践的な運営訓練についても検討していく。
- 防災と同様に減災という考えも大事になってきているが、減災に対してどのような取組を実施しているのか伺う。
→地震体験車(ゆらりん)による地震体験を実施している。また、備蓄品の備えや防災グッズなどを掲載した防災パンフレットを配布し、啓発している。
- 春日部市内に設置されているAEDの中で、24時間(夜中でも)使用できるAEDは何台あるのか伺う。
→AEDは市内に合計201台設置してある。そのうち、夜間使用できるAEDは市内34箇所のセブンイレブン各店舗に設置されている。



要望：防災は自助・公助・共助の考えのもと、要配慮者(高齢者・障がい者・難病患者・乳幼児・妊産婦・外国人など)と言われる方々の支援についても、考えなければならない。そのために、市と地域の連携は非常に重要で、更に企業との連携も重要となってきます。防災対策に「これで十分」という考えはないので、引き続きの更なる強化体制の構築を要望します。